

東亜電気工業株式会社 様

一元化されたグループウェアで業務効率の大幅アップと社員意識の改革を実現！



卸売業

業務効率向上

社員意識改革

グループウェア

会社概要

- 会社名
東亜電気工業株式会社
- 所在地
東京都千代田区外神田5丁目1番4号
- 事業内容
電気・電子材料および部品の卸売業
- 従業員数
400名
- 年商
506億円（平成21年2月期）
- URL
<http://www.toadenki.co.jp/>

POWER EGG利用環境

- 導入時期
2003年1月
- 製品バージョン
POWER EGG2.0
※2009年8月Ver1.6よりバージョンアップ
- ライセンス数
500ライセンス

【取材にご協力いただいた方】



企画部・情報システム課・課長
塚越 育美 様

導入検討の背景

DBが分散し情報管理上の煩雑さが悩みの種

業界でも情報化への取り組みが早かった東亜電気工業様。しかし、システムごとにアプリケーションがバラバラだったため、DBが分散し情報管理上の煩雑さが悩みの種でした。そこで1つのツールで全てのグループウェアや周辺業務システムを統合的に運用できるよう、POWER EGGの導入を決定されました

POWER EGGを選んだ理由

グループウェアや周辺業務システムを統合的に運用が可能

各種グループウェアによる情報共有・利活用、ワークフローや経費精算システムの運用、業務報告書や各種書類の管理・検索などを1つのツール（ポータル）でできるPOWER EGGの特性が、同社の要望を最も満たすものであったので、導入が決定された

導入前の課題とPOWER EGGによる解決

1. バラバラのツールによる情報管理上の不便さを克服

導入前の課題

- 情報検索の際に、情報の管理ツール（DB）がバラバラなので各システムのDBを探さなければならない
- データの保存先が個人管理されている場合、自分の書類なのに見失ってしまう
- データの検索が困難なので、結局は全て紙ベースの管理を止められない
- 新人研修などの際に、個別のツールを全て教える手間がかかる

POWER EGGによる解決

- ポータルで一元管理された画面上にグループウェアや周辺業務システムのアイコンを集約できたので、POWER EGGだけで全て業務を管理できる。従来の煩雑さから解放された
- 情報検索の際に検索窓口や検索ルートを迷わないから業務処理が迅速になった

2. データの消失・紛失・保存漏れの不安を克服

導入前の課題

- 個々にサーバへのバックアップをしないと、データの安全性が保たれない。しかしどこへどう保存したかを忘れてしまうと、データが見つからなくなる

POWER EGGによる解決

- POWER EGG上にデータが一元管理されているので、データの消失や紛失が発生しなくなった

POWER EGGの導入効果

- **経営者様のご評価・・・ 『社員の目標達成意識付けが進む！』**
コーポレートナビに売上計画に対する実績値が出るので、目標達成のために自ら考え行動するよう社員の意識付けが行え、経営的な判断もしやすくなる。毎日社員が必ず見るPOWER EGGにグラフ表示することで、目標と現状のギャップを"毎日・確実・直感的"に伝えることができ、目標管理が社内に浸透する効果がある
- **利用者様のご評価・・・ 『入り口が1つだから仕事がしやすい！』**
POWER EGGで用が済み、煩雑さが減り、仕事がしやすくなった。情報もすぐ見つかる。新人へのシステム研修もラクになった。ワークフローの効果で、以前は紙手配（郵送）で回っていたため3～4日かかった稟議決裁が、1日で済むようになった
- **情報システム担当様のご評価・・・ 『分散DBの一本化で情報管理がラクに！』**
書類の紙管理が無くなった。必ずバックアップされるので書類紛失の不安や情報検索の手間が解消され、POWER EGGで登録すれば正式な書類として確実に保存・管理でき、情報管理も格段にラクになった

POWER EGG活用方法

1. グループウェア/周辺業務システムの一元化

POWER EGGがあれば、全ての情報管理と業務処理がそこから行える。入り口（ポータル）が1つだから、そこで起案でき確認もできる。POWER EGGを見ていれば、業務処理上の用が済み煩雑でない

2. 部門ホームページへつながるスタートアップナビ

POWER EGGを立ち上げるとスタートアップナビ画面が現れる。そこには『経営理念』や『今期の運営方針』と共に、情報システム課・総務部・企画部・情報セキュリティの各部門の社内ホームページ（全社的に情報発信する場）につながるボタンがあり、すぐに必要な書類や規程を入手でき、情報の検索が行える

3. 利用者毎に異なるコーポレートナビ

ログインした利用者毎に異なるコーポレートナビが用意され、立場・役職が異なる社員それぞれに応じた「売上・計画・前年実績値」が棒グラフで表示される。これにより、各階層の全社員に目標と現状のギャップ認識を促し、社員の目標管理意識を日々啓蒙できる



【個人ポータル（ナビビュー）画面】



【左：スタートアップナビ、右：コーポレートナビ画面】

今後のPOWER EGG活用について



企画部・情報システム課・課長
塚越 育美 様

「営業系の業務支援ツールとして活用していきたい」

「弊社では経費精算システムや見積システム、基幹システム連携など各種の機能拡張が進んでいます。まず、こうした連携・拡張しているシステムの充実化を更に押し進めていくつもりです」
「今後強化したい課題の1つは、営業系の業務支援ツールとして活用できるようにすることです。営業所毎に販売しているものが異なり、取り扱い分野の幅も広いという業務の特殊性があつてなかなか難しいのですが、去年からテスト的に取り組んでいる"顧客別アクションプラン"（社内各部署の営業会議などで使える 共通フォーマットのツール）の普及を通じて、POWER EGGをS F Aツールとして活用できるような習慣付けにトライしています」

取り扱いパートナー



ディサークル株式会社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-36-1

住友不動産千代田ファーストウイング

TEL:03-3514-6060 FAX:03-3514-6069

<http://www.d-circle.com/>

※POWER EGGはディサークル株式会社の登録商標です。

※その他記載されている会社名、製品名およびサービス名等は各社の登録商標または商標です。

※本事例に記載された情報は初掲載時のものであり、閲覧される時点では変更されている可能性があることをご了承ください。